

「初期」資源環境政策の形成過程

「後発の公共政策」としての始動

Formation Process of Resource and Environmental Policy in its “Early Stage”
the Beginning as a “Late-comer Public Policy”

寺尾忠能 編
アジア経済研究所



「初期」資源環境政策の形成過程

「後発の公共政策」としての始動

Formation Process of Resource and Environmental Policy in its “Early Stage”
the Beginning as a “Late-comer Public Policy”

寺尾忠能 編

アジア経済研究所

目次

まえがき i

序章 「後発の公共政策」としての資源・環境政策の形成 ——「初期」と因果関係について——

寺尾 忠能 1

はじめに 1

第1節 公共政策の政策プロセスと資源・環境の政策課題 2

第2節 資源・環境政策の形成過程における「初期」の重要性 6

第3節 資源・環境政策の形成過程における因果関係 13

第4節 被害からはじまる政策形成 15

第5節 本書の構成と各章の要約 17

第1章 中国の初期環境外交と地球環境問題をめぐる国際交渉 ——「共通だが差異ある責任」原則の形成過程——

大塚 健司 23

はじめに 23

第1節 スtockホルム会議への中国代表団の参加 25

第2節 スtockホルム会議における中国代表団の立場と役割 27

第3節 オゾン層保護をめぐる国際交渉への中国の参加 30

第4節 モントリオール議定書の改正過程における中国の立場と役割 33

第5節 地球環境問題に関する中国の原則立場の確立 37

おわりに 40

第2章 台湾における水質保全政策の「初期」執行計画について ——台北地区水源汚染改善計画(1973-1984)を中心に——

寺尾 忠能 45

はじめに 45

第1節 水質保全政策の「初期」形成過程 46

第2節 台北地区水源汚染改善計画の概要 49

2-1 計画の対象地域 50

2-2 目的と位置づけ 52

2-3 工作小組の構成 54

2-4 執行の実態 55

2-5 計画の終了 58

第3節 翡翠水庫の建設と新キャンパス建設計画 59

第4節 台北地区水源汚染改善計画の背景 64

4-1 経済開発政策の転換 65

4-2 水污染防治法の第1次改正(1983年5月公布) 66

4-3 他プログラムとの関係とこの時期の水質保全政策の全体像 67

おわりに 69

第3章 アジアの環境権威主義 ——依存関係からみた環境政策と反転——

佐藤 仁 75

はじめに 75

第1節 環境権威主義の登場 76

第2節 反転する環境政策——民主主義と東洋的専制—— 78

2-1 民主主義は万能か 78

2-2 反転する環境政策 81

第3節	環境権威主義の諸側面——課題の性質と速度——	83
3-1	体制の性質	83
3-2	課題の性質	84
3-3	対応の速度	85
第4節	変化する依存関係	87
4-1	「開発主義」の遺制——中間集団の解体と創造——	87
4-2	「依存」構造の見直し	89
第5節	社会政策としての環境政策	92

第4章 環境配慮義務から代替案検討要件へ ——アメリカ国家環境政策法(NEPA)の再評価——

及川 敬貴 97

はじめに	97	
第1節	本章の問題意識と作業課題 98	
1-1	本章の問題意識 ——なぜ史的考察の対象時期を拡大するのか?——	98
1-2	NEPAとFWCA	99
1-3	問題設定——NEPAの制度的な特徴とは何か?——	101
第2節	FWCAの環境配慮義務をめぐる裁判例	102
2-1	FWCAの環境配慮義務	102
2-2	Udall vs Federal Power Commission事件	104
第3節	FWCAとNEPAの関係	106
3-1	Zabel v. Tabb事件	106
3-2	Akers v. Resor 事件	107
3-3	Gillham Dam事件	108
3-4	その後の裁判例	110
おわりに	111	

第5章 日本における地球環境政策の萌芽

——「地球的規模の環境問題に関する懇談会」に注目して——

喜多川 進 117

はじめに 117

第1節 先行研究の検討 120

第2節 大来佐武郎と田中努

——「成長の限界」の「発見」から「地球環境」の「発見」へ—— 123

第3節 地球懇設立にむけて 127

3-1 着手 127

3-2 障壁——環境庁設置法—— 131

3-3 総理の「ご指示」 132

3-4 人選 133

第4節 地球懇80年報告書——地球環境問題の「発見」—— 135

第5節 地球懇82年報告書——国際的枠組の提唱—— 138

第6節 国際的枠組の設置提案とその後 146

おわりに 148

執筆者一覧

^{てら お}寺尾 ^{ただしよし}忠能 (序章, 第2章)

アジア経済研究所新領域研究センター環境資源研究グループ主任研究員

^{おおつか}大塚 ^{けんじ}健司 (第1章)

アジア経済研究所新領域研究センター環境資源研究グループ長

^{さとう}佐藤 ^{じん}仁 (第3章)

東京大学東洋文化研究所教授

^{おいかわ}及川 ^{ひろき}敬貴 (第4章)

横浜国立大学大学院環境情報研究学院教授

^{き たがわ}喜多川 ^{すすむ}進 (第5章)

山梨大学生命環境学部准教授

—執筆順, 所属は刊行時—

〈表紙写真〉

千島湖（翡翠ダム湖）の鱒魚島（ワニ島），台湾新北市
写真：アフロ（Crocodile island; Taiwan）

訂正履歴

（2022年7月5日）コピーライト表記を修正しました。

「初期」資源環境政策の形成過程
—— 「後発の公共政策」としての始動——

EPUB版 2021年3月29日発行
オンデマンド版 2021年3月31日発行

編者 寺尾忠能
発行 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所
〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2
（電話）043-299-9735

©Tadayoshi Terao, The Author and IDE-JETRO 2021 無断転載を禁ず

ISBN 978-4-258-04648-5

